

# 働きたいオフィス・働きたい街ランキング2026

2026年3月

三菱UFJ信託銀行 人をつなぐ。未来をつなぐ。

世界が進むチカラになる。



# 目次

1. 総論
2. 働き方調査
3. 働きたいオフィス
4. 働きたい街ランキング2026

# 1. 総論

# 調査概要

調査目的	人材確保やエンゲージメント向上、人的資本経営の観点から、より働き手の求めるオフィス・働き手の意向をダイレクトに探り、その求める傾向を明らかにすることを目的に実施。昨年と同様の目的に加え、今回はDX人材確保のために求められる要素を把握する。		
調査課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 働きたいオフィスの理想と実態・オフィス環境への満足度・働きたい街の順位を明らかにする</li> <li>● DX人材がどのようなオフィス・働き方・街を希望しているのか、一般オフィスワーカーとの差分は何かを探る</li> </ul>		
調査対象者	<p>共通条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一都三県(東京・神奈川・埼玉・千葉)在住の20-59歳。会社・団体の経営者、会社員(正社員)</li> <li>● 業務全体に占めるデスクワークの割合が4割以上 ※テレワーク(在宅勤務)の頻度が「ほぼ毎日」の方は対象から除外</li> </ul>		<p>【3】就活生(200名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一都三県(東京・神奈川・埼玉・千葉)在住の学生</li> <li>● 「就職活動が終わり、内定を得ている」または「現在就職活動をしている」</li> </ul>
	<p>【1】一般オフィスワーカー(1,300名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 営業、経理・財務・人事・総務、一般事務・営業事務、マーケティング、経営企画・経営戦略、コンサルティング、販売・サービスのいずれかの職種に該当</li> <li>● DX人材の特定職種に該当した場合、DX人材に割り付かないこと</li> <li>● 各都道府県在住者の比率は有職者の人口構成に合わせて割付(年代は都道府県内で均等割り付けとした)</li> </ul>	<p>【2】DX人材(500名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 経済産業省が定義する「DX推進スキル標準」人材タイプのいずれかに該当すると回答「ビジネスアーキテクト/デザイナー/データサイエンティスト/ソフトウェアエンジニア/サイバーセキュリティ」</li> <li>● 上記の種類の経験項目において「あてはまる」を1つ以上選択 ※回収が難航した割付に関しては、「あてはまる」または「ややあてはまる」を対象条件にする条件緩和を実施</li> <li>● 各都道府県在住者の割付数は、アスマークで実施した事前の出現率調査で得られたDX人材の出現率に、首都圏日本人人口を掛け合わせて計算した人口構成に合わせて設定</li> </ul>	
調査期間	回収期間:2025年12月15日(月)~12月24日(水)		
調査方法・機関	インターネット アンケート調査 調査機関:株式会社アスマーク		
調査実施者	三菱UFJ信託銀行株式会社		

(注)1. 本調査レポートは、四捨五入に伴い一部集計値に±0.1%の誤差が生じる/SA設問選択肢の%の合計が100%にならない場合があります。対象者条件の出現率や人口構成比を加味して回収を行うなどしておりますが、インターネットリサーチの結果が日本の縮図であるとはいきれない点には注意が必要です。また、nの大きさに応じてサンプリング誤差が異なります。そのような点を前提にデータをご理解・ご活用ください。

# 性別・年代・居住地域

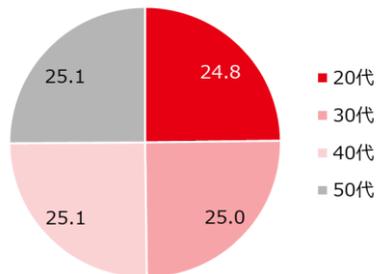
単位(%)

性別

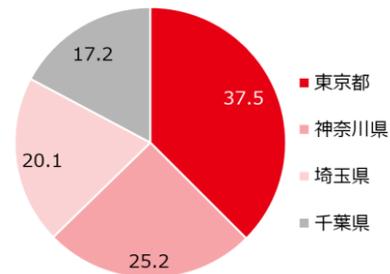
一般  
オフィス  
ワーカー  
(1,300名)



年代

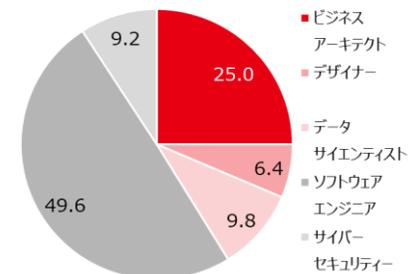
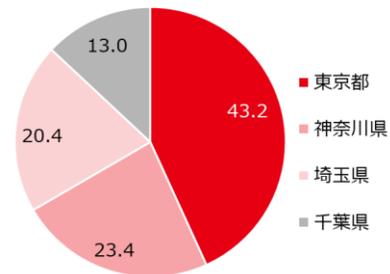
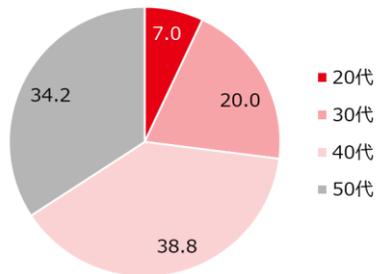
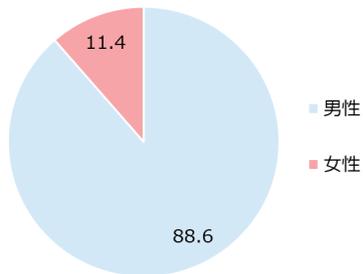


居住地域



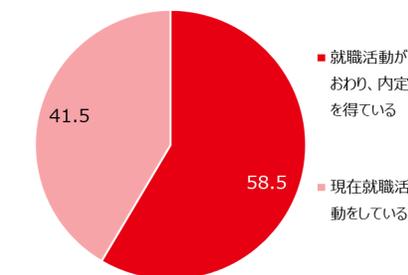
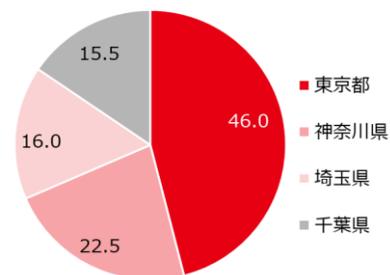
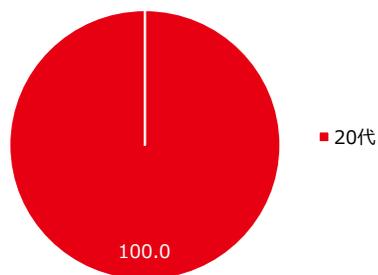
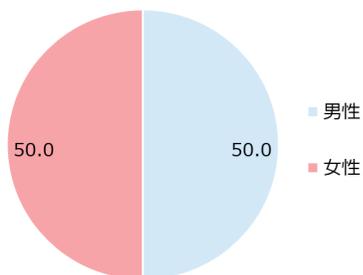
DX人材類型

DX人材  
(500名)



就活状況

就活生  
(200名)



## Executive Summary

---

### 働き方調査 : 働き方の自由度をめぐる「理想と現実」の可視化

---

- ・世代・職種を横断して共通する「柔軟性志向」の広がり。
- ・入社頻度では「実態は高頻度、理想は中頻度」に山が分かれ、運用ルール(会社都合)と生活最適(個人都合)のズレが数値で可視化されている。
- ・オフィスに来る理由は「議論・関係構築のため」と「自宅で代替しにくい作業のため」に二分され、“入社するか”より“出社で何を実現するか”への意思決定軸が強まっている。

### 働きたいオフィス : オフィスに求められる価値 — 立地と快適性

---

- ・オフィスのハード面は、「駅直結」や駅近への希望が昨年度以上に高まった。
- ・ソフト面は、一般オフィスワーカーでは快適性を追求した基本インフラ、個人の作業スペースが求められ、DX人材では一般オフィスワーカーの理想に加えて、気分転換をするためのリフレッシュ環境や、対話・共創を支えるコミュニケーションスペースが求められている。
- ・また、就活生は交流機会やビルのブランド力(知名度)に関心があり、オフィス環境が採用力に影響する可能性が示唆される。

### 働きたい街ランキング : 「丸の内・大手町」に集約される働く街のブランド力

---

- ・上位は丸の内・大手町・日本橋に集中し、選択理由も「交通利便性」と「雰囲気」のセットで語られやすく、“通いやすさ”と“働く象徴性”を同時に満たすエリアが強いという構図が鮮明である。
- ・一方で新宿・横浜のように「交通利便性+周辺施設」「通勤しやすさ」が相対的に効くエリアもあり、“都心ブランド型”と“生活動線最適型”の二つの勝ち筋が併存している。

## 2. 働き方調査

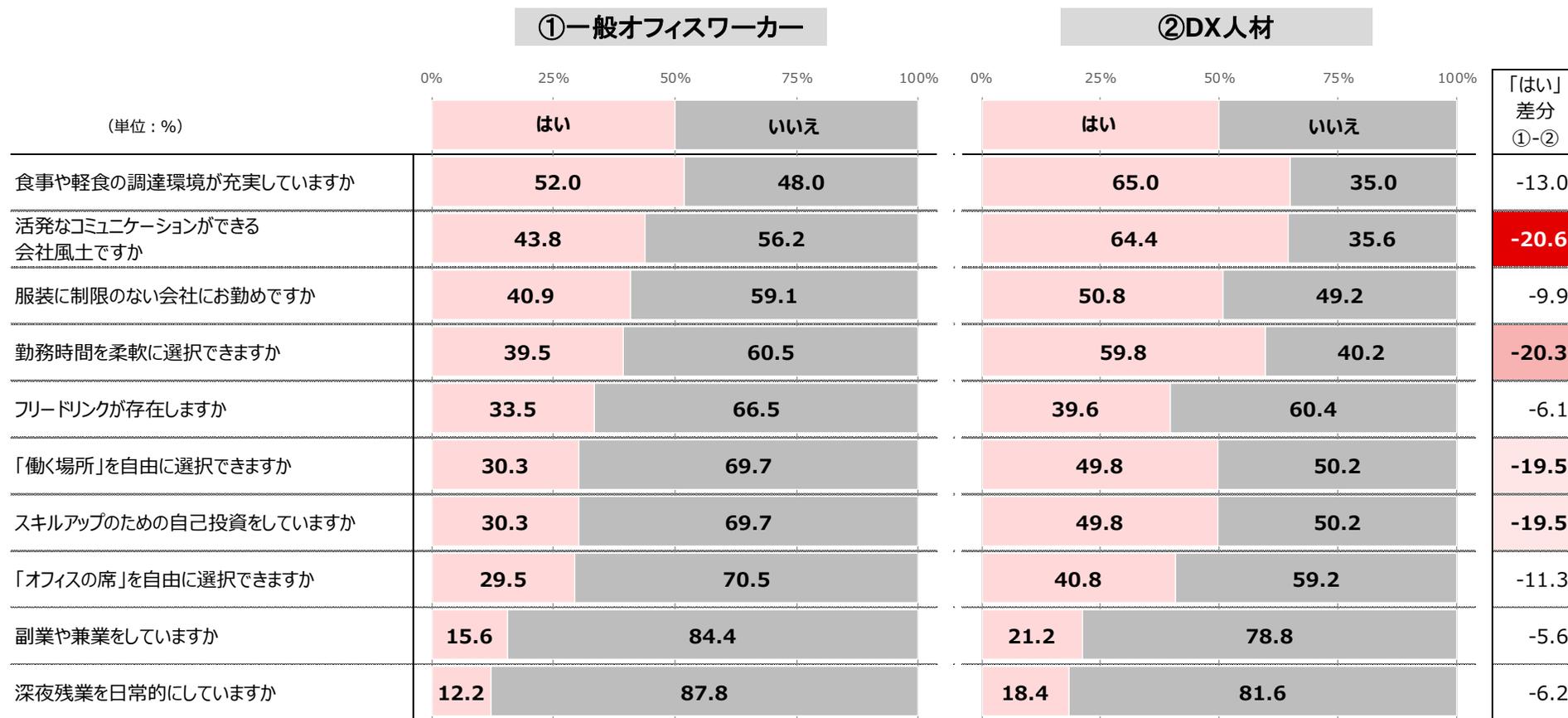
現在の働き方

# 共創を支える風土と柔軟性——働き方の体感差

- ・ 柔軟な働き方を示す項目は、DX人材が一般オフィスワーカーに比べ、柔軟に働けていると実感している状況がうかがえる。
- ・ 「活発なコミュニケーション風土」の差分が大きいのは、DX側で共創・合意形成など対話価値の高い業務が中心になりやすいことが背景にあると考えられる。

Q10. <「はい」と回答した割合>あなたの現在の働き方、会社制度等について教えてください。

単位(%)



※①一般オフィスワーカーの「はい」のスコアが大きい順に並び替え

現在の働き方

# 勤務時間、働く場所に柔軟性を感じていない女性

- ・ 勤務時間を柔軟に、働く場所を自由に選択できているとの回答が30代以上の女性では相対的に低くなっている。
- ・ 男性20代では日常的な深夜残業に関して相対的に高い傾向が見られる。

Q10. <「はい」と回答した割合>あなたの現在の働き方について教えてください。

単位(%)

		n	食事や軽食の調達環境が充実していますか	活発なコミュニケーションができる会社風土ですか	服装に制限のない会社にお勤めですか	勤務時間を柔軟に選択できますか	フリードリンクが存在しますか	「働く場所」を自由に選択できますか	スキルアップのための自己投資をしていますか	「オフィスの席」を自由に選択できますか	副業や兼業をしていますか	深夜残業を日常的にしていますか
全体		1,300	52.0	43.8	40.9	39.5	33.5	30.3	30.3	29.5	15.6	12.2
性別	男性	650	54.3	47.2	33.4	43.2	33.7	35.7	35.2	29.7	17.1	16.8
	女性	650	49.7	40.3	48.5	35.8	33.2	24.9	25.4	29.4	14.2	7.7
性年代別	男性20代	162	54.9	48.8	34.6	48.1	35.8	43.8	42.0	32.7	19.1	27.8
	男性30代	162	55.6	48.8	34.6	40.1	41.4	37.0	36.4	32.7	21.6	14.8
	男性40代	163	49.1	34.4	28.8	45.4	28.8	29.4	32.5	31.3	15.3	14.1
	男性50代	163	57.7	57.1	35.6	39.3	28.8	32.5	30.1	22.1	12.3	10.4
	女性20代	161	54.7	42.2	49.7	46.6	36.6	38.5	30.4	34.2	18.0	8.7
	女性30代	163	44.8	37.4	47.2	30.1	30.7	21.5	25.8	29.4	12.3	8.0
	女性40代	163	47.9	38.0	50.3	31.9	31.9	19.6	23.3	27.0	14.1	6.7
	女性50代	163	51.5	43.6	46.6	35.0	33.7	20.2	22.1	27.0	12.3	7.4

※全体スコアで降順ソート

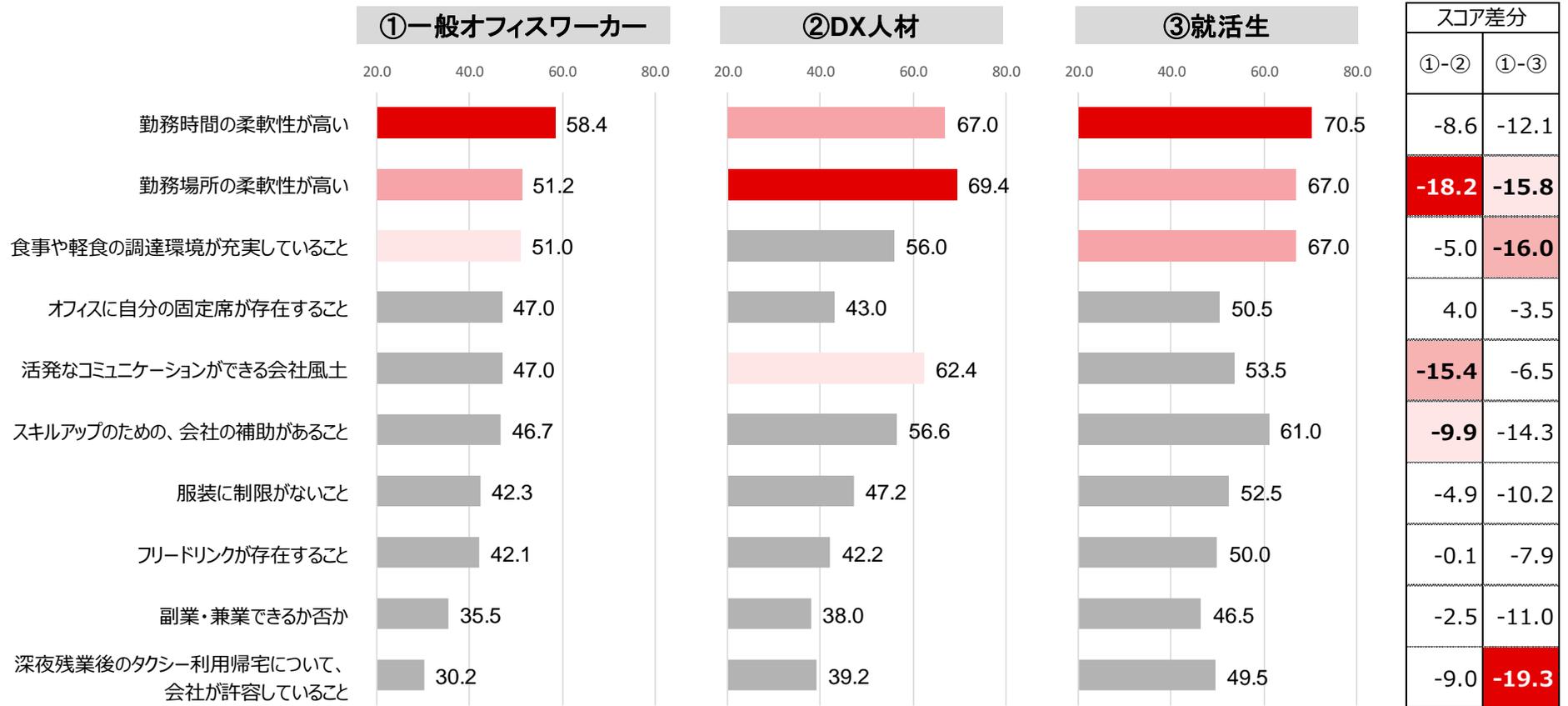
理想の働き方

# 柔軟性は“理想の働き方”の共通語

- 勤務時間・勤務場所の柔軟性が上位に並んでおり、「働き方を調整できること」が望まれている。
- さらに食事・軽食の調達環境が上位に入っており、職場の快適さや日常の負担の軽減も選好に影響している。

Q11. あなたが望む働き方、会社制度等について、以下の内容はどの程度重要ですか。

単位(%)



※TOP2スコアで降順ソート

理想の働き方 | TOP2スコア一覧

# 女性は場所や時間に“縛られたくない”——柔軟性ニーズの強さ

- ・勤務時間・勤務場所の柔軟性を求める女性が相対的に高いことが示唆され、育児や介護等のために生活上の予定などへの配慮や制度が求められている。
- ・通勤等の移動コストの最適化として、サテライトオフィスやサービスオフィスの活用をすることで理想に近づく可能性がある。

Q11. あなたが望む働き方について、以下の内容はどの程度重要ですか。

単位(%)

		n	勤務時間の柔軟性が高い	勤務場所の柔軟性が高い	食事や軽食の調達環境が充実していること	活発なコミュニケーションができる会社風土	オフィスに自分の固定席が存在すること	スキルアップのための、会社の補助があること	服装に制限がないこと	フリードリンクが存在すること	副業・兼業できるか否か	深夜残業後のタクシー利用帰宅について、会社が許容していること
全体		1,300	58.4	51.2	51.0	47.0	47.0	46.7	42.3	42.1	35.5	30.2
性別	男性	650	53.7	48.2	48.2	47.4	43.1	44.6	36.3	38.3	33.4	32.6
	女性	650	63.1	54.3	53.8	46.8	50.9	48.9	48.2	46.0	37.5	27.7
性年代別	男性20代	162	50.0	54.3	45.1	41.4	43.8	53.7	38.9	41.4	36.4	33.3
	男性30代	162	50.6	46.3	48.1	43.2	40.7	38.9	33.3	42.0	34.6	31.5
	男性40代	163	54.6	47.9	42.9	47.9	43.6	44.2	40.5	35.0	36.2	31.3
	男性50代	163	59.5	44.2	56.4	57.1	44.2	41.7	32.5	35.0	26.4	34.4
	女性20代	161	60.9	60.2	50.9	45.3	52.8	47.2	46.0	47.8	43.5	29.8
	女性30代	163	63.8	62.0	54.0	44.8	38.7	53.4	49.7	44.8	41.1	28.2
	女性40代	163	63.2	48.5	56.4	46.6	54.6	48.5	46.6	41.7	39.3	26.4
	女性50代	163	64.4	46.6	54.0	50.3	57.7	46.6	50.3	49.7	26.4	26.4



※TOP2=「かなり重要」+「まあまあ重要」 ※全体スコアで降順ソート

出社頻度の理想と現実

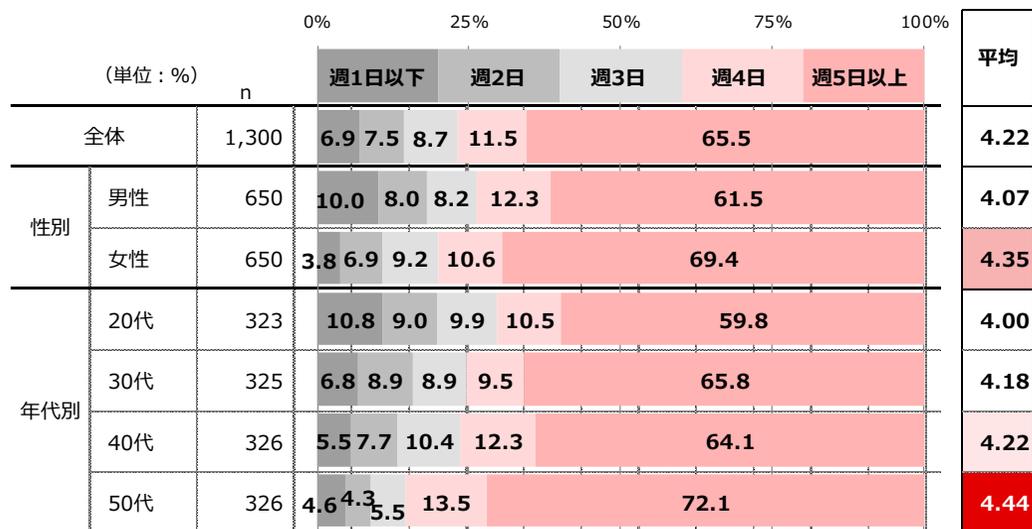
# 「出社回帰」への認識のズレが数字で出る——実態と理想の“乖離”

- 全体では、「週5日以上」出社している回答者が65.5%で最も多い。昨年度と比較し、出社頻度が上昇。
- 週5日以上出社が6割半ばを占めるが、理想の最多は週3日出社。

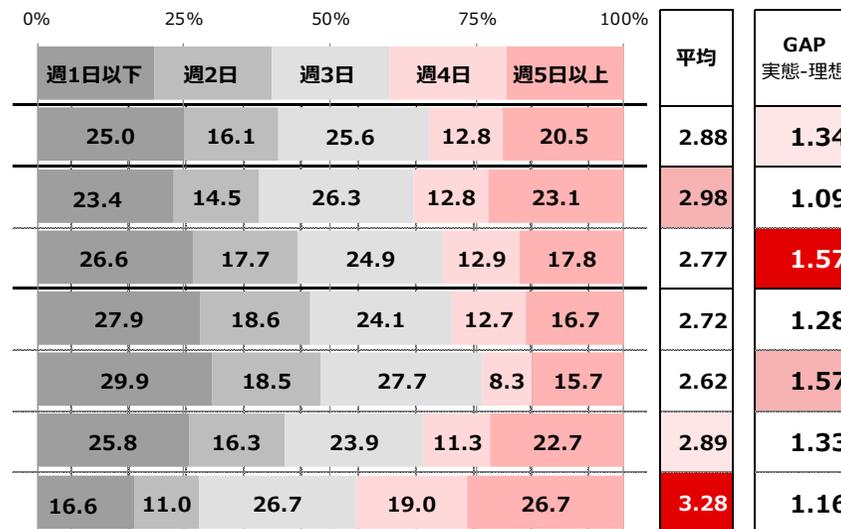
Q15. 出社頻度の実態と理想を教えてください。

単位(%)

出社頻度の実態



出社頻度の理想



出社頻度の実態(昨年度:オフィスワーカー)



出社頻度の理想(昨年度:オフィスワーカー)



※平均は「週1日以下」=1点～「週5日以上」=5点として計算しています

出社頻度の理想と実態

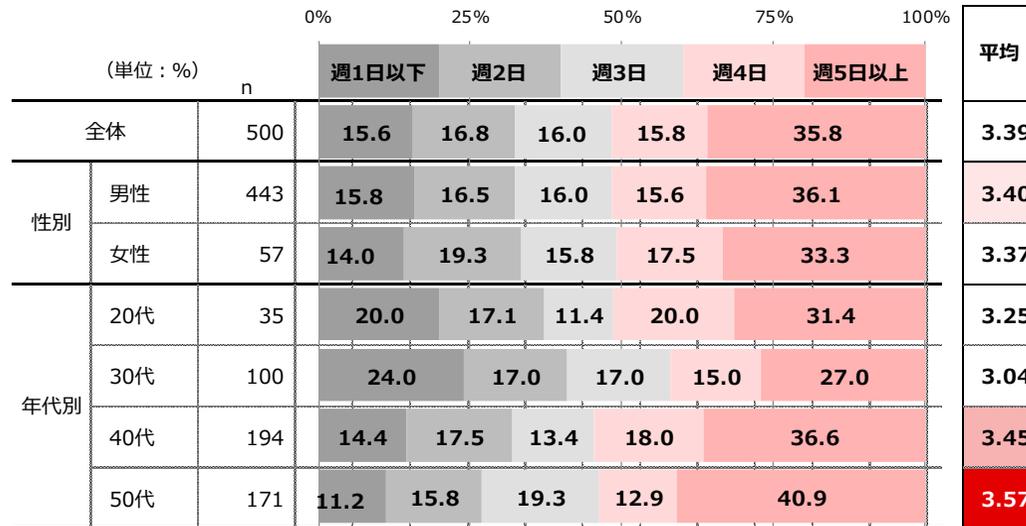
# 一般オフィスワーカーは“週5寄り”、DXは“週3寄り”——出社スタイルの分岐

- 一般オフィスワーカーとDX人材の間で、出社頻度週5日以上の割合は、30%以上の開きがある。
- DX人材は、仕事の進め方・業務が“場所依存しにくい”ため、週5日出社に固定しなくても回る設計が取りやすい。

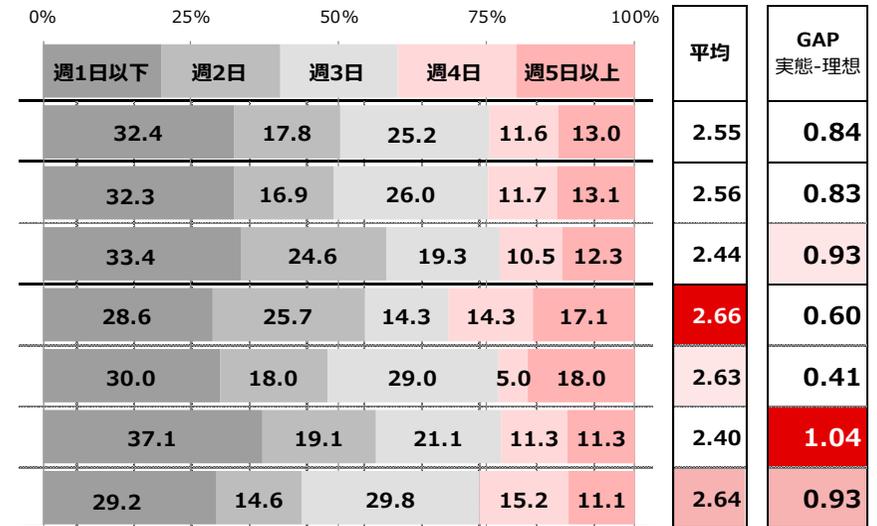
Q15. 出社頻度の実態と理想を教えてください。

単位(%)

出社頻度の実態



出社頻度の理想



出社頻度の実態(一般オフィスワーカー)



出社頻度の理想(一般オフィスワーカー)



※平均は「週1日以下」=1点~「週5日以上」=5点として計算しています

オフィスに来る意味を感じる瞬間【全体一覧】

“出社したい/したくない”ではなく、“出社の目的が違う”

- ・ 出社価値は「議論・共創」と「代替不能作業」に分かれ、オフィスの役割が目的達成の場へ。
- ・ 目的が違えば必要なオフィスも違うため、オフィスに“何をしに来るのか”の棚卸しをすることが有効と考えられる。

Q16. オフィスに来る意味があると感じる瞬間はどんなときですか？1位をお選びください。

単位(%)

n=1,300	①一般オフィスワーカー	%
1	チームで直接集まり、 アイデアを出し合いながら議論を深めるとき	37.4
2	印刷など、書類作業のとき	17.1
3	自宅ではできないセキュリティレベルの業務をするとき	15.3
4	オフィスが「コミュニケーションの場」「関係構築の場」 だと感じるとき	14.3
5	高性能な設備（大型モニター、専用会議室等） を使うとき	9.6
6	上司や先輩の仕事のやり方を見て学ぶとき	5.2
7	その他	1.2

n=500	②DX人材	%
1	チームで直接集まり、 アイデアを出し合いながら議論を深めるとき	45.6
2	自宅ではできないセキュリティレベルの業務をするとき	16.4
3	オフィスが「コミュニケーションの場」「関係構築の場」 だと感じるとき	15.0
4	高性能な設備（大型モニター、専用会議室等） を使うとき	13.4
5	印刷など、書類作業のとき	5.4
6	上司や先輩の仕事のやり方を見て学ぶとき	2.2
7	その他	2.0

### 3. 働きたいオフィス

オフィス環境の実態(ハード面) | 立地や外観

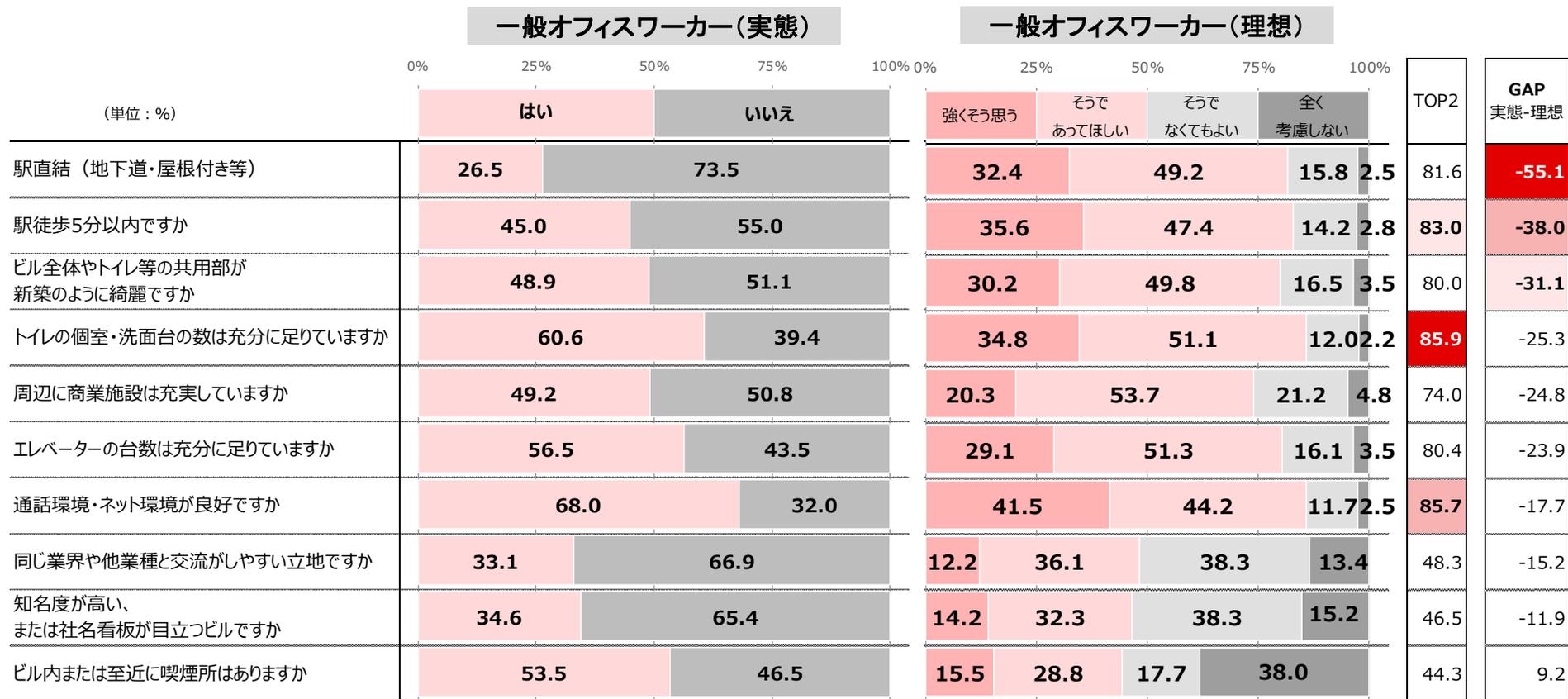
# 最大の壁は通勤

- ・ 駅直結や駅から近い立地を望む声は多数派である一方、実態では十分に満たされていない。
- ・ 通勤ストレスに直結するハード要素は、オフィス選択の決め手になる可能性が考えられる。

Q17. あなたが働いているオフィスの立地や外観について教えてください。(ハード面)

Q18. あなたはどのようなオフィスなら、「働きたい」と思いますか。(ハード面)

単位(%)



※GAPの大きい順に並び替え(理想のスコアが高いものを優先)

オフィス環境の理想(ハード面) | 立地や外観【TOP2スコア一覧】

# 求めるのは、通勤負担の最小化と基本インフラの充実

- ・ 生活動線の利便性を重視し通勤ストレスを抑えたいニーズが、女性20代で最も高い。
- ・ トイレや通話環境といった基本インフラの充実も重視されやすく、働く環境の整備が当然視される傾向がうかがえる。

Q18. <TOP2>あなたはどのようなオフィスなら、「働きたい」と思いますか。(ハード面)

単位(%)

		n	トイレの個室・洗面台の数が十分に足りている	通話環境・ネット環境が良好である	駅徒歩5分以内である	駅直結(地下道・屋根付き等)	エレベーターの台数が十分に足りている	ビル全体やトイレ等の共用部が新築のように綺麗である	周辺の商業施設が充実している	同じ業界や他業種と交流しやすい立地である	知名度が高い、または社名看板が目立つビルである	ビル内または至近に喫煙所がある
全体		1,300	85.9	85.7	83.0	81.6	80.4	80.0	74.0	48.3	46.5	44.3
性別	男性	650	83.8	85.5	81.1	80.0	80.0	78.5	73.1	52.6	49.4	52.2
	女性	650	87.8	86.0	84.9	83.2	80.8	81.4	74.9	44.0	43.7	36.5
性年代別	男性20代	162	75.3	79.6	80.2	75.3	74.1	75.9	71.0	51.2	51.2	53.1
	男性30代	162	83.3	82.7	77.2	77.8	78.4	73.5	69.8	53.1	48.8	49.4
	男性40代	163	85.3	87.1	81.6	80.4	79.8	81.0	74.8	54.0	52.1	54.0
	男性50代	163	91.4	92.6	85.3	86.5	87.7	83.4	76.7	52.1	45.4	52.1
	女性20代	161	85.7	84.5	89.4	90.7	82.6	80.7	82.6	50.3	50.3	40.4
	女性30代	163	89.0	84.7	84.0	82.8	78.5	79.1	71.8	37.4	44.2	37.4
	女性40代	163	89.6	87.7	87.1	83.4	82.2	82.8	76.1	45.4	41.1	33.1
	女性50代	163	87.1	87.1	79.1	76.1	79.8	82.8	69.3	42.9	39.3	35.0

※TOP2=「強くそう思う」+「そうであってほしい」 ※.全体スコアで降順ソート

オフィス環境の理想(ハード面) | 立地や外観

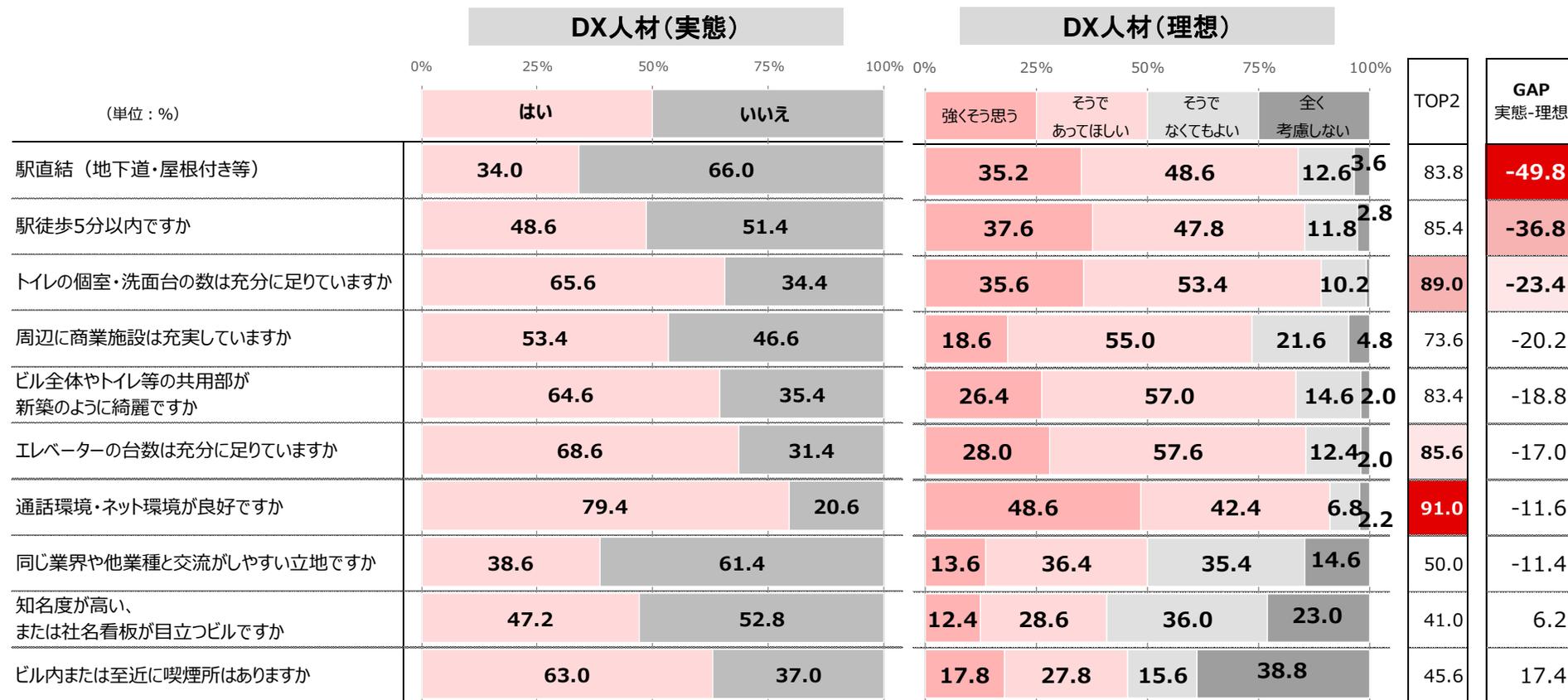
# 理想と現実のズレはどこにある？——DX人材ハード面ギャップの全体像

- ・「通話・ネット環境」が理想の最上位である一方、実態値も高く、理想と現実のズレが突出していないことから、“最重要インフラは一定整備が進んでいる”と読み取れる。
- ・一般オフィスワーカーと同様に、立地や動線といったハード面は改善難易度が高く、働きやすさの不満として蓄積しやすい領域である。

Q17. あなたが働いているオフィスの立地や外観について教えてください。(ハード面)

Q18. あなたはどのようなオフィスなら、「働きたい」と思いますか。(ハード面)

単位(%)



※GAPの大きい順に並び替え(理想のスコアが高いものを優先)

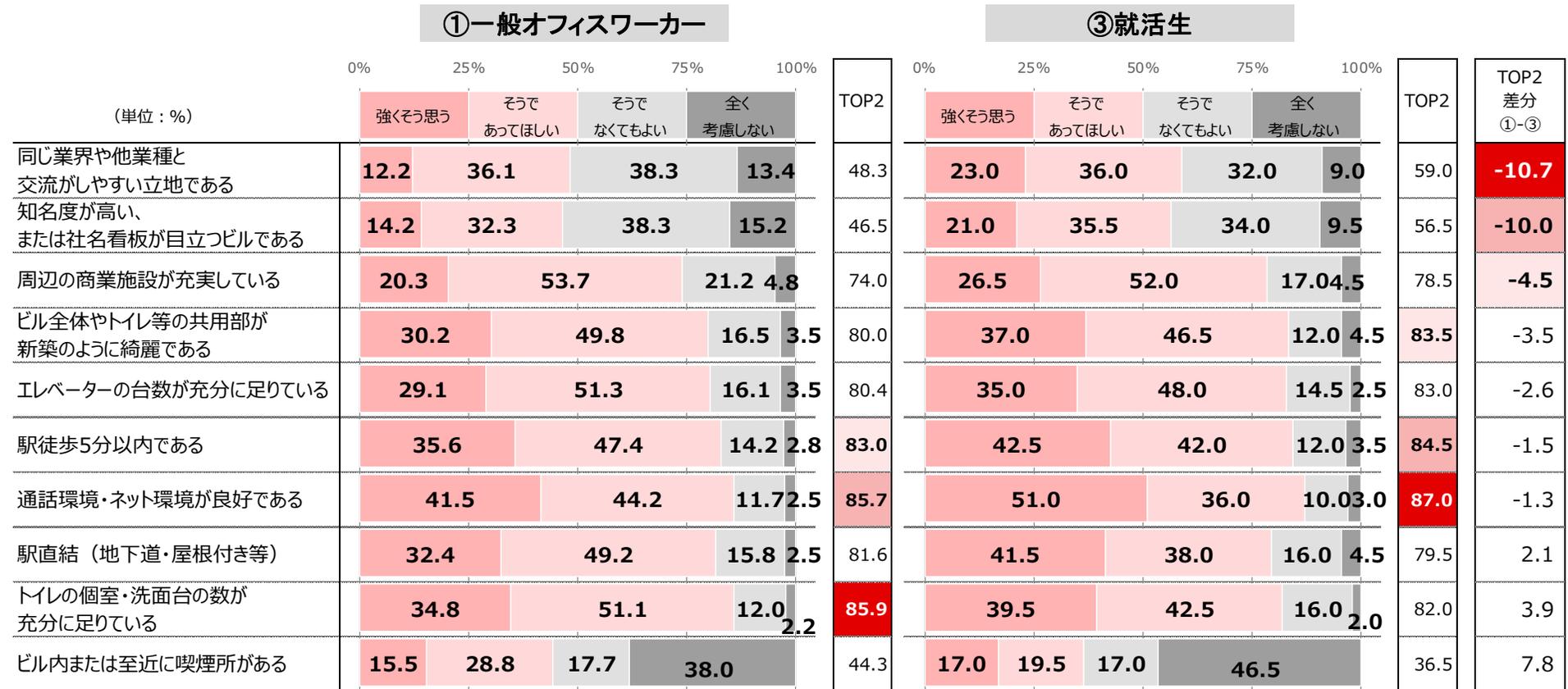
オフィス環境の理想(ハード面) | 立地や外観

# 就活生が見るのは“交流”と“ブランド”——オフィスは“採用の顔”

- ・ 一般オフィスワーカーはトイレや通信など「毎日困らない条件」を重視する一方、就活生は「交流」や「知名度」といった“外部接点”に関心が向きやすい。
- ・ 採用の段階では、「交流機会」と「会社の顔としての分かりやすさ」が、働きたい意向を押し上げる可能性が示唆される。

Q18. あなたはどのようなオフィスなら、「働きたい」と思いますか。(ハード面)

単位(%)



※GAPの大きい順に並び替え(理想のスコアが高いものを優先)

オフィス環境の実態(ソフト面) | 設備やスペース

# 一般オフィスワーカーが求めるのは、“快適性”

- ・ 設備の個人差に対応できる柔軟な設定や運用が不足している可能性が示唆される。
- ・ 設備を調整できない不便が前面に出ており、設備(空調や家具等)の「日々のフィット感(設定・運用)」を改善することが求められている。

Q20. あなたが働いているオフィスの設備やスペースについて教えてください。(ソフト面)

Q21. あなたはどのようなオフィスなら、「働きたい」と思いますか。(ソフト面)

単位(%)

(単位: %)	一般オフィスワーカー(実態)		一般オフィスワーカー(理想)				TOP2	GAP 実態-理想
	はい	いいえ	強くそう思う	そうであってほしい	そうでなくてもよい	全く考慮しない		
空調を柔軟にコントロールできる	37.3	62.7	22.3	54.3	19.9	3.5	76.6	-39.3
快適性と機能性を兼ね備えた家具が充実している	33.3	66.7	17.5	52.8	25.3	4.4	70.3	-37.0
カフェ・ラウンジ・社員専用の食堂がある	32.5	67.5	20.9	46.2	26.4	6.5	67.1	-34.6
設備が充実したリフレッシュルームがある	24.3	75.7	16.8	40.6	34.2	8.4	57.4	-33.1
IT設備・IoT設備が整備されている	34.1	65.9	18.5	48.7	27.5	5.3	67.2	-33.1
個人の作業スペースが充実している	45.2	54.8	20.5	55.4	19.9	4.2	75.9	-30.7
オフィスの内装が洗練されている	36.7	63.3	17.5	49.5	27.2	5.8	67.0	-30.3
用途に合わせてレイアウト変更がしやすい	32.2	67.8	14.5	47.5	32.2	5.8	62.0	-29.8
コミュニケーションスペース、ミーティングスペース、会議室の数が充実している	42.6	57.4	18.4	53.5	23.3	4.8	71.9	-29.3
来客用スペースが充実している	41.9	58.1	15.2	50.2	28.8	5.7	65.4	-23.5

※GAPの大きい順に並び替え

オフィス環境の理想(ソフト面) | 設備やスペース【TOP2スコア一覧】

# オフィスに求めるものは世代で違う

- 働き方の実態として深夜残業が相対的に多い20代男性は、その分リフレッシュルームを求めている。
- 50代は空調など“身体に効く快適性”を強く求める一方、20代はカフェやリフレッシュルーム等の“気分転換できる場”への期待が前面に出ている。

Q21. <TOP2>あなたはどのようなオフィスなら、「働きたい」と思いますか。(ソフト面)(それぞれ1つずつ選択)

単位(%)

		n	空調が柔軟に コントロールできる	個人の作業ス ペースが充実し ている	コミュニケーシ ョンスペース、ミー ティングスパー ス、会議室の 数が充実してい る	快適性と機能 性を兼ね備え た家具が充実 している	IT設備・IoT設 備が整備され ている	カフェ・ラウンジ・ 社員専用の食 堂がある	オフィスの内装 が洗練されてい る	来客用スパー スが充実してい る	用途に合わせ てレイアウト変 更がしやすい	設備が充実し たりリフレッシュ ルームがある
全体		1,300	76.6	75.9	71.9	70.3	67.2	67.1	67.0	65.4	62.0	57.4
性別	男性	650	74.5	73.8	73.8	70.5	70.0	65.7	65.5	68.6	62.5	59.7
	女性	650	78.8	77.8	70.0	70.2	64.3	68.5	68.3	62.3	61.7	55.1
性年代別	男性20代	162	70.4	70.4	71.6	74.7	69.1	66.0	68.5	69.8	67.9	64.8
	男性30代	162	75.3	71.6	71.0	70.4	66.7	61.7	64.2	68.5	56.2	56.2
	男性40代	163	69.9	71.2	72.4	67.5	67.5	68.1	65.6	64.4	65.0	59.5
	男性50代	163	82.2	82.2	80.4	69.3	76.7	66.9	63.8	71.8	60.7	58.3
	女性20代	161	75.2	78.9	74.5	73.9	64.6	72.7	70.2	67.1	67.7	62.1
	女性30代	163	76.7	73.6	63.8	66.9	59.5	66.3	67.5	55.2	58.3	54.6
	女性40代	163	81.6	82.2	72.4	71.8	68.1	70.6	70.6	65.0	63.2	54.0
	女性50代	163	81.6	76.7	69.3	68.1	65.0	64.4	65.0	62.0	57.7	49.7



※TOP2=「強くそう思う」+「そうであってほしい」 ※全体スコアで降順ソート

オフィス環境の理想(ソフト面) | 設備やスペース

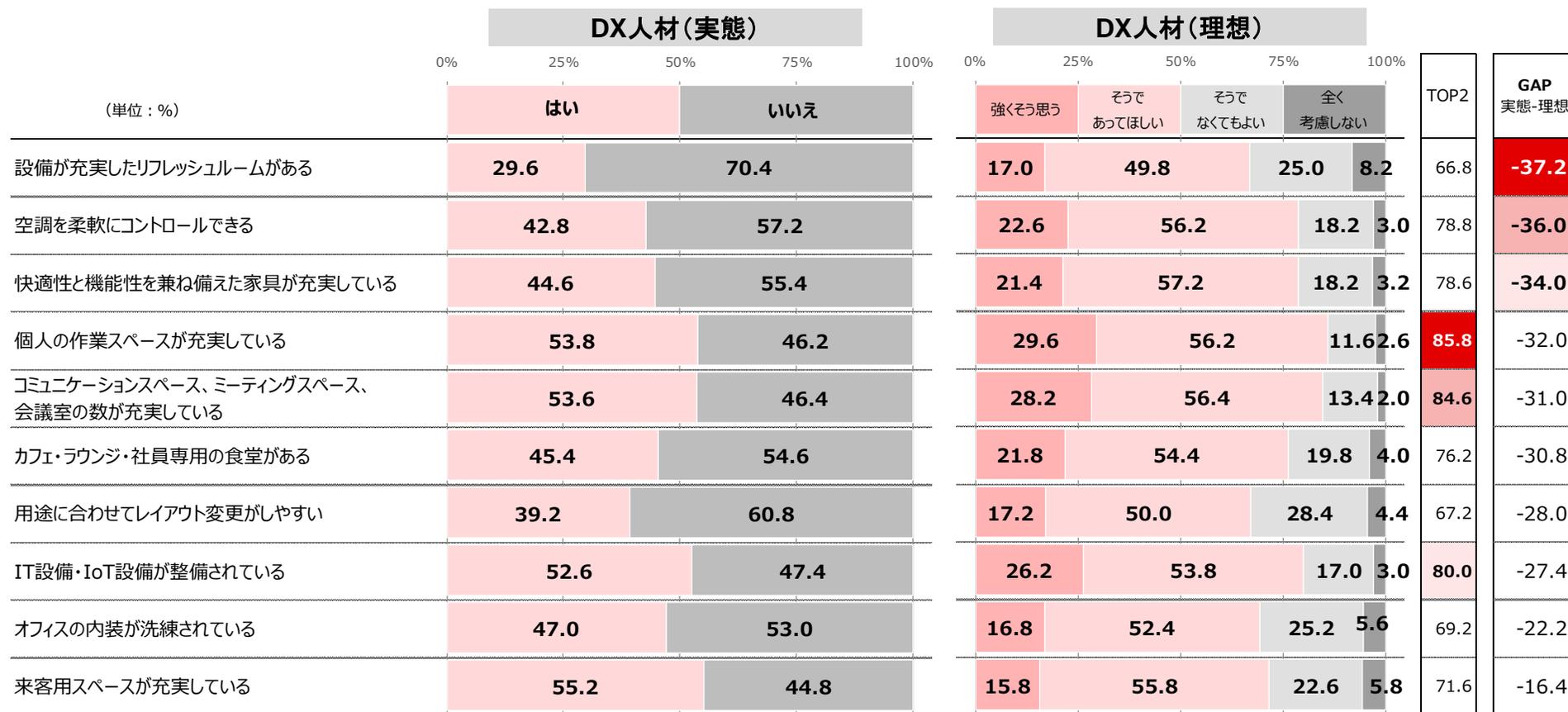
# DX人材の最大ギャップは「リフレッシュ環境」

- DX人材はリフレッシュルームへの期待が相対的に高い結果となった。
- コミュニケーションスペースへの理想値は、一般オフィスワーカーと比べてDX人材で12Pt高く、対話や共創を支える空間への期待がより強いことが示唆される。

Q20. あなたが働いているオフィスの設備やスペースについて教えてください。(ソフト面)

Q21. あなたはどのようなオフィスなら、「働きたい」と思いますか。(ソフト面)

単位(%)



※GAPの大きい順に並び替え

オフィス環境の理想(ソフト面) | 設備やスペース

# “休む”がオフィス価値になる——リフレッシュ設備の新常識

- ・ 就活生は単なる業務設備よりも、“過ごし方”が想像できる要素が評価に入りやすい。
- ・ ジムなど体験型の共用設備を備えた新築ビルの増加が、「オフィスに求めるもの」を押し上げている可能性がある。

Q21. あなたはどのようなオフィスなら、「働きたい」と思いますか。(ソフト面)

単位(%)



※差分の大きい順に並び替え

## 4. 働きたい街ランキング2026

### 提示した街のリスト

丸の内／大手町／八重洲／日本橋／京橋／有楽町／銀座／上野／神田／秋葉原／飯田橋／  
新橋／浜松町／田町／高輪ゲートウェイ／品川／大井町／大崎／五反田／目黒／恵比寿／  
渋谷／新宿／中野／池袋／虎ノ門／神谷町／麻布／六本木／赤坂／青山／豊洲／晴海／  
台場／天王洲／川崎／横浜／新横浜／みなとみらい／関内／大宮&浦和／千葉&幕張／  
その他（自由回答）

働きたい街ランキング(TOP15エリア) 全体

# 働きたい街は「やっぱり都心」——憧れと通勤現実の重なり

- ・ 上位は都心中枢に集まり、「アクセス×象徴性」が働く場所選択を強く規定している。
- ・ ランキングは“憧れ”だけでなく“現実の移動負担”も反映するため、街の魅力と通勤動線の総合評価として読む必要がある。

Q4&Q6. 上記のリストの中から、働きたい街を教えてください。

n=1,300	①一般オフィスワーカー	(P)
1	<b>丸の内</b>	<b>781</b>
2	<b>大手町</b>	<b>451</b>
3	<b>新宿</b>	<b>216</b>
4	日本橋	204
5	みなとみらい	151
6	八重洲	143
7	大宮&浦和	142
8	横浜	138
9	有楽町	120
10	千葉&幕張	112
11	池袋	110
12	上野	104
13	銀座	95
13	品川	95
15	渋谷	93

n=500	②DX人材	(P)
1	<b>丸の内</b>	<b>264</b>
2	<b>大手町</b>	<b>187</b>
3	<b>新宿</b>	<b>126</b>
4	日本橋	82
5	池袋	72
6	秋葉原	67
7	八重洲	66
8	横浜	63
9	品川	50
10	渋谷	49
11	大宮&浦和	45
12	みなとみらい	41
13	上野	40
14	銀座	36
15	有楽町	26

n=200	③就活生	(P)
1	<b>丸の内</b>	<b>130</b>
2	<b>大手町</b>	<b>63</b>
3	<b>日本橋</b>	<b>41</b>
4	新宿	31
5	横浜	30
6	渋谷	28
7	八重洲	26
8	千葉&幕張	24
9	みなとみらい	16
10	池袋	15
11	銀座	14
11	秋葉原	14
11	品川	14
11	大宮&浦和	14
15	有楽町	12
15	上野	12

※1位に選ばれた街は2ポイント、2位に選ばれた街は1ポイントとして計算したポイント集計で働きたい街をランキング化しています

働きたい街ランキング(TOP15エリア) 一般オフィスワーカー(男女別)

# 男性は仕事動線、女性は生活動線——街選びの分岐点

- ・ 上位は共通しつつ、5位以下で価値基準が分岐することが示唆される。
- ・ 女性は、華やかさを重視した街選びをしているのではないかと推察される。

Q4&Q6. 上記のリストの中から、働きたい街を教えてください。

n=650	男性	(P)
1	<b>丸の内</b>	<b>405</b>
2	<b>大手町</b>	<b>259</b>
3	<b>新宿</b>	<b>114</b>
4	日本橋	84
5	八重洲	82
6	みなとみらい	66
7	上野	62
8	横浜	59
8	千葉&幕張	59
10	大宮&浦和	57
11	秋葉原	55
12	品川	52
12	渋谷	52
12	池袋	52
15	有楽町	50

n=650	女性	(P)
1	<b>丸の内</b>	<b>376</b>
2	<b>大手町</b>	<b>192</b>
3	<b>日本橋</b>	<b>120</b>
4	新宿	102
5	みなとみらい	85
5	大宮&浦和	85
7	横浜	79
8	有楽町	70
9	銀座	65
10	八重洲	61
11	池袋	58
12	千葉&幕張	53
13	品川	43
14	上野	42
15	渋谷	41

※1位に選ばれた街は2ポイント、2位に選ばれた街は1ポイントとして計算したポイント集計で働きたい街をランキング化しています

働きたい街ランキング(TOP15エリア) 一般オフィスワーカー(居住県別)

# 憧れと現実が同居する二層構造

- ・ 居住県別で見ても、1位はいずれも「丸の内」となっており、通勤利便性や業務上の拠点性といった普遍的な評価軸が居住県差を上回っていることが示唆される。
- ・ 埼玉県民にとって、「丸の内」「大宮&浦和」は僅差。2位は「通勤の現実を踏まえて選ばれる街」。

Q4&Q6. 上記のリストの中から、働きたい街を教えてください。

n=488	東京都	(P)
1	<b>丸の内</b>	<b>335</b>
2	<b>大手町</b>	<b>200</b>
3	<b>新宿</b>	<b>137</b>
4	日本橋	104
5	渋谷	53
6	八重洲	50
7	有楽町	49
8	銀座	48
9	池袋	47
10	品川	35
11	飯田橋	30
12	上野	28
13	中野	27
14	新橋	25
15	神田	23

n=327	神奈川県	(P)
1	<b>丸の内</b>	<b>159</b>
2	<b>横浜</b>	<b>118</b>
3	<b>みなとみらい</b>	<b>106</b>
4	大手町	86
5	新宿	41
6	八重洲	40
6	品川	40
8	関内	35
9	渋谷	31
9	新横浜	31
11	川崎	27
12	日本橋	25
13	銀座	18
14	有楽町	17
15	新橋	13

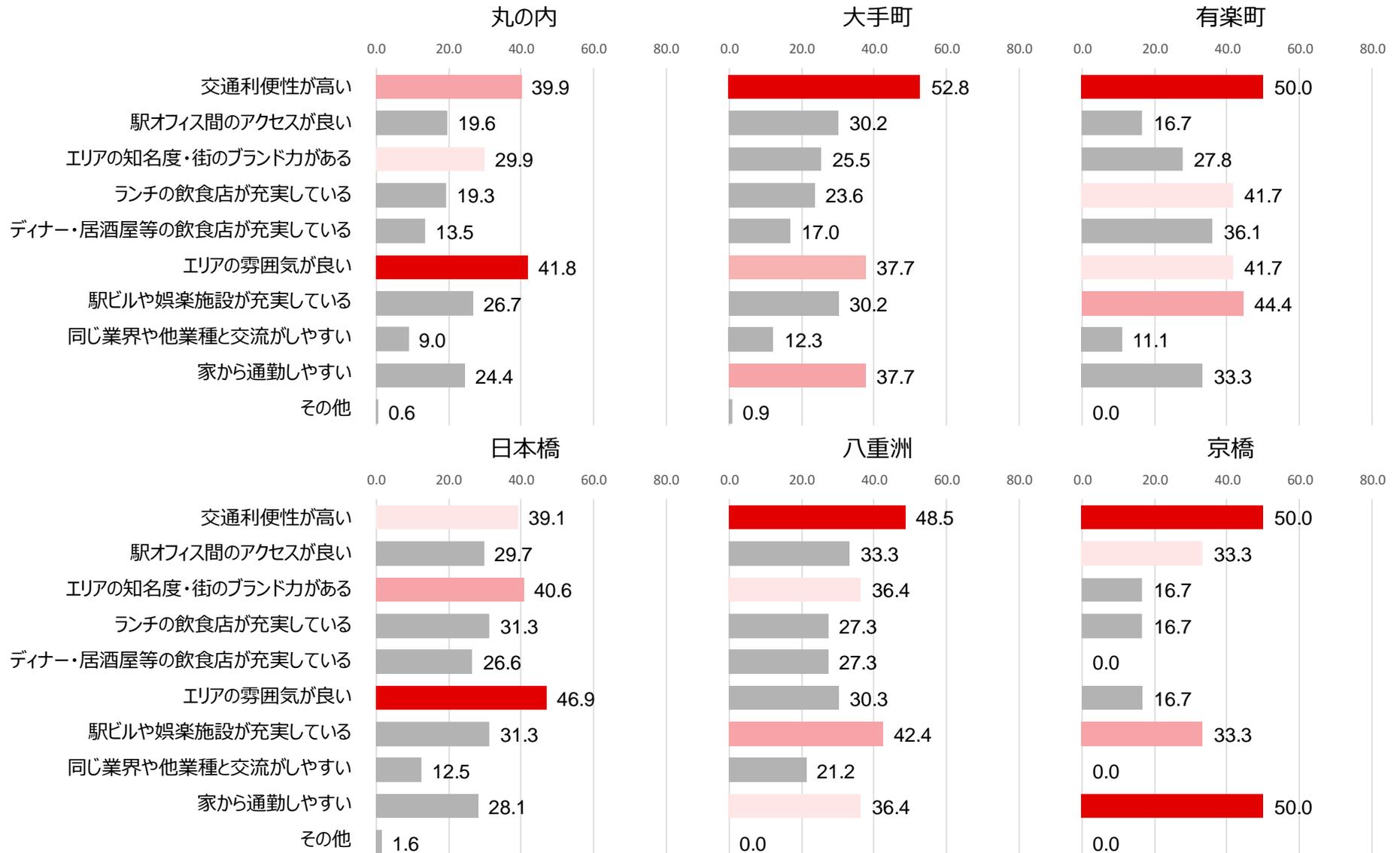
n=261	埼玉県	(P)
1	<b>丸の内</b>	<b>137</b>
2	<b>大宮&amp;浦和</b>	<b>127</b>
3	<b>大手町</b>	<b>74</b>
4	池袋	50
5	上野	38
6	有楽町	33
7	新宿	31
8	日本橋	30
8	秋葉原	30
10	八重洲	22
11	みなとみらい	19
12	銀座	17
13	新橋	13
13	千葉&幕張	13
15	神田	12

n=224	千葉県	(P)
1	<b>丸の内</b>	<b>150</b>
2	<b>千葉&amp;幕張</b>	<b>94</b>
3	<b>大手町</b>	<b>91</b>
4	日本橋	45
5	八重洲	31
6	上野	30
7	有楽町	21
8	秋葉原	17
9	みなとみらい	13
10	京橋	12
10	銀座	12
12	品川	11
13	大宮&浦和	9
14	神田	7
14	田町	7
14	新宿	7

※1位に選ばれた街は2ポイント、2位に選ばれた街は1ポイントとして計算したポイント集計で働きたい街をランキング化しています

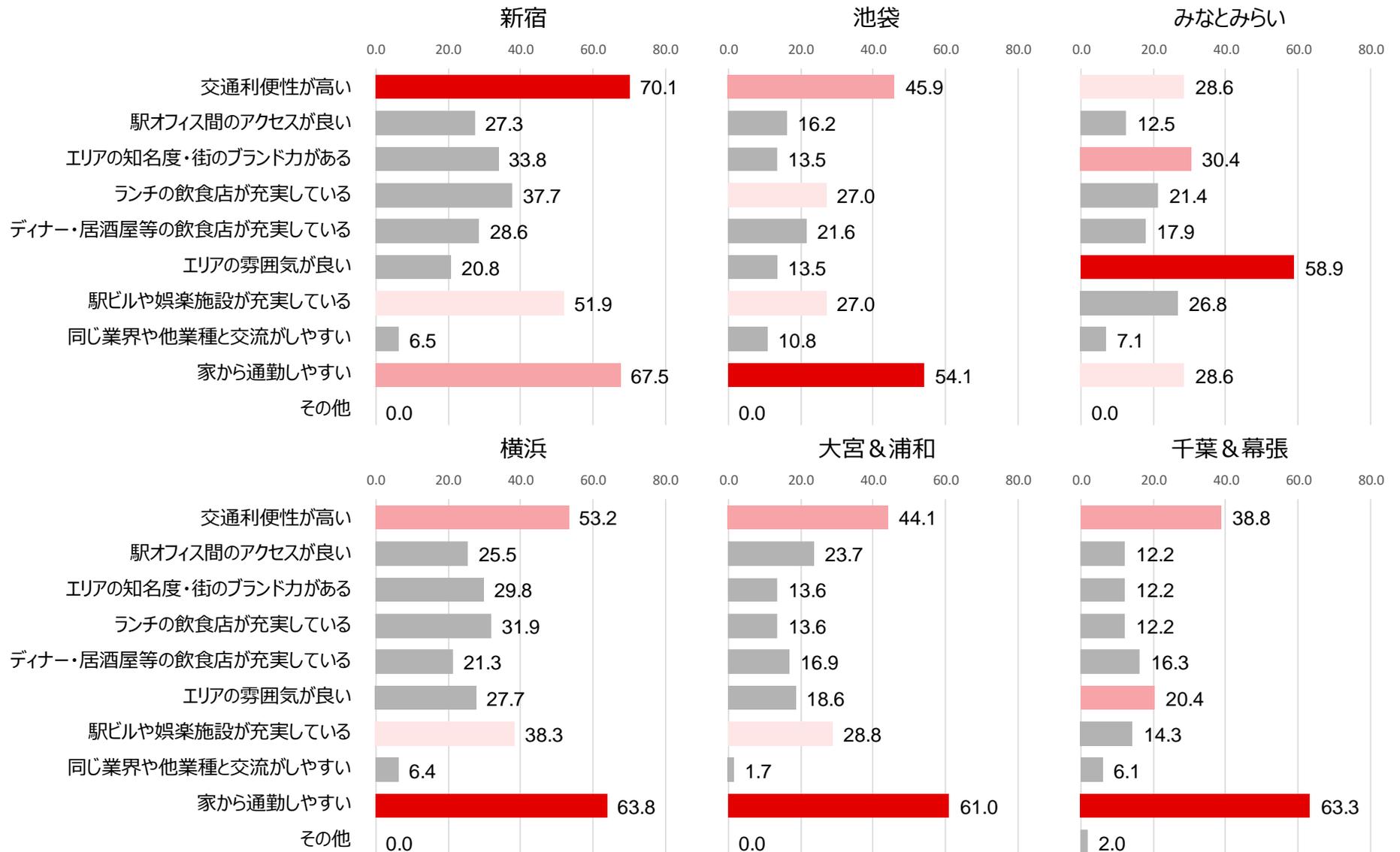
働きたい街を選んだ理由(上位エリア) 一般オフィスワーカー

単位(%)



働きたい街を選んだ理由(上位エリア) 一般オフィスワーカー

単位(%)



働きたい街ランキング(TOP15エリア) 一般オフィスワーカー前回比較

# ランキングは“動いた街”がニュース——前回比較で見える変化点

- ・「日本橋」「八重洲」は「通勤・業務利便性の高さ+再開発」が順位を上げた可能性が考えられる。
- ・「大宮&浦和」は埼玉県民の票を多く獲得し、通勤現実に強く“無理なく通える働く街”として再評価されたと捉えられる。

Q4&Q6. 上記のリストの中から、働きたい街を教えてください。

n=2,103	前回調査：オフィスワーカー
1	丸の内・大手町・有楽町
2	新宿
3	横浜
4	みなとみらい
5	日本橋
6	渋谷
7	池袋
8	八重洲・京橋
9	品川・高輪ゲートウェイ・泉岳寺
10	新橋・虎ノ門
11	銀座
12	恵比寿・目黒
13	上野
14	大宮
15	新横浜

n=1,300	今回調査：オフィスワーカー
1	丸の内・大手町・有楽町
2	新宿
3	日本橋
4	八重洲・京橋
5	みなとみらい
6	大宮&浦和
7	横浜
8	品川・高輪ゲートウェイ・泉岳寺
9	千葉&幕張
10	池袋
11	上野
12	銀座
13	渋谷
14	新橋・虎ノ門
15	秋葉原

# ディスクレームー

---

本プレゼンテーションにより、貴社と三菱UFJ信託銀行株式会社の間には何ら委任その他の契約関係が発生するものではなく、三菱UFJ信託銀行株式会社が一切法的な義務・責任を負うものではありません。

本資料は信頼できると考えられる各種データに基づいて作成されていますが、三菱UFJ信託銀行株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示したすべての内容は、三菱UFJ信託銀行株式会社の現時点での判断を示しているに過ぎません。また、本資料に関連して生じた一切の損害については、三菱UFJ信託銀行株式会社は責任を負いません。その他専門的知識に係る問題については、必ず貴社の弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談の上ご確認下さい。

本資料は三菱UFJ信託銀行株式会社の著作物であり、著作権法により保護されています。三菱UFJ信託銀行株式会社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

Copyright 2026 Mitsubishi UFJ Trust and Banking Corporation All rights reserved.

東京都千代田区丸の内1-4-5

三菱UFJ信託銀行株式会社 テナントリーシング営業部

**三菱UFJ信託銀行が契約している指定紛争解決機関 一般社団法人 全国銀行協会**

連絡先 全国銀行協会相談室

- 電話番号： 0570-017109 または 03-5252-3772
- 受付時間： 月～金曜日9:00～17:00（祝日、12/31～1/3等を除く）

三菱UFJ信託銀行株式会社 テナントリーシング営業部

〒100-8388

東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行本店ビル

[www.mufg.jp](http://www.mufg.jp)

